

## 平成30年度 学校経営計画書

学校番号	40	学校名	県立科学技術高等学校 全日制	校長名	遠藤 克則
------	----	-----	----------------	-----	-------

### 1 目指す学校像

#### (1) 教育目標

「ものづくりを通して、未来を切り拓く感性と創造力を培い、社会に貢献できる科学技術のスペシャリストを育成する」を基本理念に、学校生活が活気に満ち、保護者、地域はもとより、県内外から信頼され、期待される学校を目指す。具体的には、以下の人材を育成することを目指す。

ア 実践的技術を持ち、理工分野において高度な技術・研究開発に取り組むことができる人材の育成

イ 生産工程等の改善・設計・開発に積極的に取り組むことができる人材の育成

ウ 柔軟な発想を持ち、将来、起業しようとする意欲のある人材の育成

上記のような人材に欠かせない能力を、本校では創造力、課題解決能力、人間力が基本であると捉え、これら三つの能力の育成を重点事項として取り組んでいく。

#### (2) 目標具現化の柱

ア 創造力の育成

基礎となる豊富な知識と教養力を身に付け、新たな価値づくりに挑戦することができる力を育成する。

イ 課題解決能力の育成

様々な体験を通して、課題に立ち向かう姿勢と忍耐力を身に付け、その解決に向けて工夫・改善することができる力を育成する。

ウ 人間力の育成

国際的な視野に立って物事を考え、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら社会の持続的な発展に貢献することができる力を育成する。

エ その他

教育の質を確保するとともに、業務改善を推進し、その適正化を図る観点から、教育課程の研究や特別支援体制の確立、教職員研修の推進、施設・設備の整備等を通して、生徒を取り巻く教育環境を改善していく。

### 2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	<b>日常の学習習慣を定着させる。</b>	学習指導要領の趣旨等を踏まえ、授業改善に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に主体的に取り組んでいると答える生徒80%以上</li> <li>・授業の内容がよく分かると回答する生徒80%以上</li> </ul>	教務 学年 教科
		1日10時間、学習と部活動への集中した取組を促す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10時間達成70%以上</li> </ul>	
		教養力テストを継続する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教養力テストの実施15回以上</li> </ul>	
	<b>個々の生徒のニーズに対応した進路指導体制を確立する。</b>	学年、教科等が連携し、3年間を見通した指導体制を確立、堅持する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸し出し冊数の増加</li> <li>・図書館来館者数延べ8,000人以上</li> </ul>	図書
<b>部活動を効率的に実施する。</b>	部活動の合理的・効果的な活動方法について研究し、実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の将来に対する夢や希望を持っていると答える生徒70%以上</li> <li>・信頼できる先生がいると答える生徒80%以上</li> <li>・国公立大学合格者60人以上</li> <li>・就職内定率100%</li> </ul>	進路 学年 教科	
		部活動に参加している生徒80%以上 学校が楽しいと答える生徒90%以上	生徒	

様式第1号

イ	探究的な教育活動を推進する。	課題研究への主体的な取組を促すとともに、STEM教育等、教科横断的な実施について研究する。	・大学等と連携し、全学科で実施	学科
	専門分野の能力を向上させる。	学科に関連する部活動を活発化させ、コンクールや各種競技大会への参加を推進する。	・全国大会出場、全国規模のコンクール等の入賞	
		国家資格等の高度な資格に積極的に挑戦させる。	・受験者数及び合格者数の増加	
ウ	グローバル化への対応と国際理解教育を推進する。	希望者による海外研修を実施する。	・充実した研修ができたと答える生徒90%以上	国際化 推進 英語
		英語に関する検定の受験を促す。	・英語検定等の受験者数の増加	
		海外の高校との交流を推進する。	・海外姉妹校との交流の実施 ・海外修学旅行について研究する。	学年 学科
	持続可能な社会の一員としての素養を育成する。	登校指導や部活動、ホームルーム活動等において、あいさつ運動を推進する。	・挨拶がしっかりとできていると答える生徒95%以上	生徒 学年
		授業や学校行事等、教育活動のあらゆる場面を通して、規範意識を醸成する。	・身だしなみがしっかりとできていると答える生徒95%以上	
		インターンシップ、保育介護体験実習の状況を分析し、改善・充実に取り組む。	・参加した生徒の満足度80%以上	委員会 学年
		資源の大切さを意識させるとともに、3S活動を推進する。	・3Sに取り組んでいると答える生徒90%以上	生徒 学年 環境防災
交通安全や防災に対する意識を醸成する。	・交通ルールの遵守に心掛けていると答える生徒95%以上			
エ	カリキュラム・マネジメントを推進する。	高大接続と新しい学習指導要領に関する研究を深める。	・移行措置等を踏まえ、教育課程を変更する。	教務 教科
	特別支援教育体制を確立する。	困り感のある生徒を早期に発見し、保健室、教育相談課、学年等が連携した支援を行う。	・教育相談だよりを月1回以上発行 ・1年生全員を対象にしたカウンセリングを実施	保健 教育相談
	教職員の資質・能力の向上を支援する。	各種研修会や研究会での成果の還元を促す。	・研修の成果を授業改善や学校運営に役立てた教員90%以上	研修
		ICT機器の整備を推進する。	・日常的に授業でICT機器を活用した教員60%以上	研修 情報管理
	教職員のメンタルヘルスの増進及びコンプライアンスの徹底を図る。	メンタルヘルス及びコンプライアンスに対する意識を醸成する。	・メンタルヘルス及びコンプライアンスに関する研修の実施1回以上	委員会 研修
	学校教育活動に関する広報を充実する。	ホームページを積極的に更新する。	・週4回以上更新	総務
		ものづくり教室の実施や校外でのイベント等への参加を推進する。	・各学科で2回以上実施	学科
	校務の円滑、かつ適切な実施を推進する。	校務で使用する文書・名簿等を共用使用できるよう整理する。	・全員の職員が校務で共有サーバーを使用する。	情報管理
施設・設備の整備、省エネ・省資源への取組を進める。		・点検の日を設け、PFI担当者との点検月1回以上実施 ・コスト意識を醸成し、消費電力量を5%以上削減	事務	